

令和5年度マスメディア活用の「フレイル対策」普及啓発業務 公募型プロポーザルに係る質問に対する回答

令和5年4月27日 福島県健康づくり推進課

質問項目	質問内容	回答
仕様書 3 業務内容 (1) 共通事項 ウ	「フレイル予防ハンドブック」等の印刷・配布とあるが、県で使用する最低必要数は何部か。それを含めて提案で良いか。	事業対象者への訴求効果が高くなるよう、配布先及び配布数も含めた企画提案をお願いします。
仕様書 3 業務内容 (2) 新聞による情報発信	内容かぶりを減らすため、昨年新聞に掲載したデータ・取材先を頂けますでしょうか。	新聞に掲載された記事については、提供可能です。
仕様書 3 業務内容 (4) 市町村広報誌等に活用可能な普及啓発記事の作成	「市町村広報誌に活用可能な普及啓発記事の作成」とありますが、掲載する広報誌を具体的に示す必要はございますか。また、その記事紙面は無料で掲載する想定でしょうか。	作成いただいた普及啓発記事は、市町村が広報誌等に活用できるフリー素材とすることから、広報誌を具体的に示す必要はありません。また、広報誌等への掲載については市町村が判断し、実施することから、掲載に係る費用は想定しておりません。